THE WOMAN'S WEEKLY

第貳巻　第五十號

大正五年十二月八日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日 第三種郵便物認可

婦人週報

本號目次

□酒から起つた一大椿事……小橋三四子
□時事週評……
□愛の本義……植村正久
□花ならば白梅（上）氷雪を冒して匂ふ三角女史……民子
□儉約物語 そーら火事！……近藤浩
□滿妻……臼井船雄
□タイピストと世間の待遇……笠原つね子（某タイピスト）
□コドモのからかひ……村尾節三
□久野さんの演奏會……聽衆の一人
□あばらやの寒さ……薄田斬雲
□花籠入りの壜細工……大妻一惠
□初冬の魚貝料理……記者
□小説「暗調」……高田てい子
□貞女物語「顏世御前」……廣田花崖
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵送料五

婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

権威ある
化粧料は

品位ある
淑女を作る

過酸化水素と美顔原料数種を化學的に化合させた最新式の白美衛生美容素で本當に素顔の色、艶を良くします。

本舗

東京赤阪溜池
オキシナー商會
電話新橋三六二六
振替東京三四〇〇九

定價 大四十錢 小廿錢 送料各四錢

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

酒から起つた一大椿事

實地の教訓に省よ

□桑港の便り

本誌「讀者から」の欄に掲げた在桑港大澤ます子姉の通信に見ゆる如く、今回の米國大統領改選に際し、桑港の邦人にして投票權を得て得る只二人が、一人はヒューズ氏に、一人はウキルソン氏に各一票を投じたが、二人は同じく禁酒案に贊成したとありました。そして其の親達も亦、加州を禁酒州にする事は、事業には影響するであらうが、風敎には望ましいと云つて、奬勵の意を洩されたのでありました。今や米國は各州に於て禁酒案が優勢に赴き、之れに贊成する事を一種の誇りとする傾きになつて居ります。

□一人の飲酒家の爲に

私がこの通信を讀取ると、殆ど同時に、酒に關係ある一椿事が我が社會に起りました。それは過る廿九日夜東北線青森縣下に於て、壯丁八百餘名を乘せたる列車が、大衝突して、慘死二十五名、重傷者六十二名を出しました。然るに此の一大事故が、古間木驛助役某氏が飲酒酩酊せる結果、通過表の信號を誤り傳へたにありと知つて、飲酒の弊を等閑に附する我が風習に、戰慄せざるを得ませんでした。幾百の人命を乘せて往來する列車の急所に起つて、執務中飲酒する等は、職業に怠慢といふよりも、餘りの無智を責めなければなりませんが、同時に飲酒といふ事が、茶を飲む位に考へられて居る、我が社會の良心の痲痺を嘆かざるを得ませぬ。

□米國禁酒國とならん

飲酒の害に就ては、大澤、片山兩博士を初め、諸大家により専門的は研究發表されて居るので、今は如何にして其の弊害を一般に知らしめ、之れを勵行せんかにあります。米國に於ては一人のウキラード孃出で、先づ婦人界に其の思想を宣傳し、次で家庭を淸め、少年禁酒軍を盛んに唱み、今日次第に國家的に其の運動の効果を及ぼして、禁酒案の制定は、殆ど全國の半ば以上に達し、遠らず禁酒國の實現を見るに至らうとして居ります。

□大戰亂の一大産物

今回の歐洲大戰亂の當初に於て、露國に於ては、既に禁酒令を布き、次で英國に於ても、軍隊に酒を用ふる事を禁じました戰爭によつて多くの人命と財力とを失ふに至るとも、國民に禁酒の習慣を養つた事は、實に大なる産物であつて、戰後人の心身の改造にどれ程の効果があるべきかは勿論、戰時も亦アルコールの爲めに費す金と、人の健康と、社會の秩序と正確とを、どれ程利して居るかも分りませぬ。

□今日の景氣の生む罪惡

我が國は交戰國の間に立つて幸に平和の春秋を樂しめるのみならず、貿易は未曾有の好況を呈し、既に七億圓の金貨が我が社會に入り込んだと云つて、其處、此處に景氣のよい歌聲を聞くにつけ、其の金の如何に費消さるゝかを思ふ時、心ある者は憂慮に堪へぬ事でありませう。世の所謂成金と稱ふる者が、第一に之れを費す所は花柳の巷であります。此處に於て酒色に溺れた結果は、我が健康を害するのみならず、罪なき子孫を毒する事は、明らかな成行きであります。生中富んで其の子孫を害

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

するよりも、寧ろ貧乏國を名に負ふても、將來の國民の心身を强健ならしむる方が、國家百年の計なる事は勿論であります。

□親の飲酒と低能

我が國に於ては、年々四百萬石の常食を酒に作ると云はれて居りますが、之れが釀造から、人々の食膳に上る迄の費用をも加へたら、實に莫大なものでありませう。しかも之れより生ずる害毒は、この費用に何倍して居る事でありませう。私共は學窓にある青年が、自らは充分の努力をしても、成績の擧らぬのに悶々として居る者等が、其の家庭の狀態を調らべる時に、父親が飲酒家の場合の多いのを見て、其の子の一生を苦しめる大なる罪惡が、知らず〳〵手にした一杯の盃の酒であつたと知つて、其害毒の如何に恐るべきかを知らぬ周圍の人々に、一層聲を大きくしてこれを宣傳しなければならぬと、頻りに感ずるのであります。

□一部の人の主張に非ず

一人の銘酊者の誤ちから、數百の壯丁の生命を傷けた今回の出來事の如きは目に見えたる大事件でありますが、日々夜々目に見えぬ間に、人の生命を奪つて居るアルコール成分を我が社會から驅逐する事は、今後怠らず務むべき運動であります。對岸の米國が禁酒禁煙が今や一つの流行の如くなつて、心なき人々等もこの主義を稱へなければ紳士淑女の體面を保つ事が出來ないと迄、考へられて居る位、輿論が喚起されて來た今日、我が社會に於ては禁酒禁煙などは堅苦しき一部の人の稱ふる說の如く思ひなされて、滔々として其の害毒に浸りつゝある事は寒心に堪へたる事であります。偶々實地の教訓に接したる今日、この機を逃せずに、益々禁酒勵行を高調したいものであります。（三四子）

時事週評

□花の日會の寄附

立太子式當日に菊花五十萬個を賣つて純利益七千七十三圓八十三錢を得たる同會は、内六千五百圓を別項時事欄に記載の如く、各種の慈善團體に寄附され、殘額は同會常備費中に繰り越されたさうであります。これによつて見ると、花の日會の施療部費中には僅かに百二十圓を加へられたのみであります。同會に於ては曩きに私娼救濟事業を企てられたと聞きますが、この至難の事業の成績を擧げて行くには、花の日の純利益を皆費しても尙ほ足らぬでありませうし、また全部の金を注入しても之れを成就する價値があります。初めて我が國婦人界に企てられたる救濟事業が有名無實に終らざらんを望むと同時に、花の日會の利益分配に際しても外に施す前にこの事業の爲に責任を帶びて、充分主張せられざりし形跡あるを見て惜しむ次第であります。

□久野女史の演奏

別項にも記載せる如く、過る三日の恢復祝賀音樂會に於て同女史が生死の境から、奇蹟のやうに蘇生して、前よりも一層力ある演奏をされました。女史がピヤノに向つて居る間の表情は、眞に日頃のあのやさしさが一變して、恐ろしい迄に緊張され、云ふべからざる一種の威嚴を添へられます。其の瞬時、眞に不純を離れた人間の美を見る事が出來ました。

□木村駒子の洋行

曾ては新らしき女として打つて出で、幾何もなくして女優に化し、近くは淺草金龍館の舞臺に起つて、低級な六區の藝術を振興せしめん等と主張せる木村駒子は、來春早々良人と共に米國に渡航し、良人は靈魂の科學的研究をなし、駒子は婦人運動の研究と、日本舞踊を世界的のものとしたいとの抱負を洩らして居るとの事です。かやうな婦人が誇らした說を面白半分に新聞等によつて、社會に紹介されて行く事が、恐ろしい事です。それにつけても學問あり、眞面目な婦人が社會を恐れて臆病にも引込んで居る事は、申譯ない事です。今日と違つた畑から、新らしい婦人の叫び聲がもつともつと聞えて來ればなりませぬ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

愛の本義

高砂の尉と姥の如く洗練さるべき男女の愛

植村正久

□愛は最も森嚴なもの

愛と云へばいかにも和やかな扱ひ易いもの丶樣に見えるが、一方には最も森嚴な意味を含んで居る。愛の特色は自らを與へる事にあるが、「豚の前に眞珠を投げ與ふる勿れ」とある如く、己れを人に與ふるには、其の目的物を撰ばなければならぬ。「士は己れを知る者の爲めに死す」其の目的物によつては、死もなほ厭ふに足らぬが、また次第によつては、投け出しかけても杜絶せねばならず、振り蒔かれても斷らねばならぬ嚴重なものである。「神は愛」であつて、人はこの愛を弄ぶことは出來ない。今日の社會に於ては、この愛の嚴乎として犯すべからざる方面を味ふことが缺けて居るのである。

□性慾はなほ端緒

男女間の愛は性慾に關係あるが、私はこの方面に就て餘り云ふを好まない、また云ふべき事も多くは知らぬ。然し私は更らに思ふ。夫婦の愛―男女兩性の愛は、性慾に關係ある部分は、確かにあるが、それはほんの端緒であつて、より深い、より神聖な表現がなくてはならぬ。もし男女の愛が性慾上にのみ止れば、實に醜なる禽獸と撰ばぬであらうが、人のみは進んで高尚な域に達し得るのである。其の域に達し得れば、恰も旅行者が行く先に至つて草鞋を脱ぎ捨てるやうに、遂にはこれを省みぬ迄に徹底するに至るのである。

□高砂の尉と姥

昔婚禮の筵に高砂の尉と姥とを飾つたものであるが、これは共に八千代の共白髮迄とめでたいものにする以外に、面白い表象があると思ふ。男女間の愛の進域は、當にかくありたいと云ふのではないか。次第に年長けて、若い人達のやうに性慾の事等は何もない、只精神的な氣高い、相愛相敬の念に結ばれる。花嫁花婿が三々九度の盃をする時、この二人の男女は、次第に垢拔けがして、この尉と姥との如く階老同穴の契りを完うしたいと云ふ意味にもとれる。男女間の愛の關係は、互に相敬し相愛し、身を犧牲に供して仕へ合ひ、忍耐努力を重ぬる間に、次第に汚い低い性質を清め、高めて、遂に正しい立派なものになるのである。其處迄達するのが男女間の愛の理想である。人間は決して五十年を一期にして終る者ではなく、實に永遠無窮の運命を持ち、神の國を繼承ぐべきものであつて、男女の愛の關係も、永遠無窮に向上聖化さるべき運命使命を持てることを、深く我々の心にとめ、社會にも廣くこの理想を推し及ばしたいと思ふ。此處に男女間の愛の本義に就て、二三の要點を申し述べて見る。

□愛は淸潔でありたい

男女間の愛は、第一淸潔でありたいと思ふ。此の事に就て種々の事實をお話しすればよいが先づ文學の方面から一二の實例を擧げて見度いと思ふ。かの十

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

九世紀の英國女流作家ジョージ、エリオットのロモラに表はされたる愛は如何。ロモラは賢婦人であつたが、誤つてよくない夫に嫁いた。初めは其の中らひも睦まじく、愛子を設けたが、やがて夫は裏切つて、外の女と關係を初め、且つ夫の人物のよからぬ事をも發見した。ロモラはさういふ不潔な、女子に對する敬意を拂はぬ男と同棲するは甚だ望ましからぬ事とて、身を退いて、子供と共に暮し、苦心を極めて、己のが貞潔の德を重んじた。その高尚な氣品には、讀む者が凜然として襟を正さざるを得ない。苟も妻たる者は不倫な夫でもなほ情實に絡まれて諦らめ心で身を弄ぶに任せ、不潔な快樂の道具に使はれるやうな憐むべき境遇に滿足すべきではない、凡ての男女の關係が、止むを得なければ、ロモラの如くにありたいと思はれる。また舊約聖書のホゼヤ書には、男女間の關係の悲劇を書いて、家庭内に起つた云ふに忍びざる波瀾に處して、實に紳士の取るべき態度を取り遂に神の愛の深きに達した話が記されてある。ホゼヤには既に子まで成したる妻があつたにも拘らず、其の妻は道ならぬ事をして遠國に走つた。悶々の情を排して、ホゼヤにはこの妻を救ひ上げてやらうとの慈悲心が閃き再び妻を傍らに連れ戻り「お前はこれから克己修養して、身を正しく清く持つ習慣を養つて貰ひ度い、私もお前と同樣孤獨を守つて、共に其の高潔なる生活を送り、望むらくは精神上に偕老同穴の契りを完うしたい」と述べて居る。醜い人間らしくない夫婦が同棲する時は、動物としてなら其の日を送る事が出來やうが、人間として高尚な生活を樂しむ事は出來ない。

□一夫一婦の道

次には一夫一婦の道である。人間の未だ開けぬ時代には一夫多妻、否甚だしきは一向區別無しに、男女が雜居して居つたがこれは原始、野蠻人類の事であつて、人間の理想ではない。次第に時は進み優勝劣敗の生存競爭を經て、犧牲に犧牲を重ね、磨き上げた結果、今日基督教に於て稱へる一夫一婦の道が明らかにされた。一夫一婦の道でなければ、到底高砂の尉と姥との關係の如く熟達し、垢拔けし、靈化する事は出來ない。夫婦は好き嫌ひ、氣の合ふ合はぬで、出たり引込んだりするやうではとても愛の眞情を味ふ事は出來ない。今日歐米では一部の人の間に「期限付の結婚」といふ夫婦關係を營む者があり、氣の合ふ間丈けを同棲するといふ事があるさうであるが、夫婦は犧牲と忍耐とを以て、互に磨き合ふにあらざれば、到底滿足する關係を保つ事が出來ず、洗錬し合ふた夫婦によつて出來た家にして初めて感化の源たる美はしいものが出來得るのである。

四

□男女は同等

次に男女は同等でなければならない。同等と云ふのは同一と云ふのではない、男女は其の身體を異にし、仕事を異にし、領分を異にする。只價値に於て同等であつて、等しく尊敬し合ふべきである。或る支那人が「私に喜ぶべき事が三つあるがその一は男に生れた事である」と云つたといふ。明治二十三四年頃英國の新紙に現はれた事であるが、其の國の基督教信者の間に「男女は現在の世界丈けのものか、もしくは永久的のものか、生理上の關係は現在の世界的のものではあるが、心、品性の特性に於ては男女の相違は永久的のものではなからうか。美はしい女の氣質や特徵も、一と度死の關門を潛れば、男子と何の區別なく消え去つて終うものとは思はれない」と堂々たる紳士が眞面目に論じて居るのを見て、さういふ事の問題が、論じられ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

る社會は實に羨ましいと感じた事があつた。此の社會を清潔な美くしいものにするには、男女を同等にと高調しなければならない。

□理想を的に

終りに私は法律上からと、宗教、道德上から見た事との相違を少し考へて見たいと思ふ。昔イスラエルに於ては、モーセの律法によれば離婚は敢へて差支へなかつたが、エスはこれを以て「お前方の心が頑固であつたから、かやうな法律があつたが、根本的の原則を云ふと、決して離婚すべきものではない」と申されて居る。エスの前には屢々財産に關し、政治に關する問題を提げて來る者があつても餘り關係せられずして「カイザルの者はカイザルに歸すべし」とて、金の面にカイザルの形のあるのを見て、税金は其の方に納めよと云はれたなど餘りその方面には深入りをされなかつた然るに男女の問題は、さも興味ありげに明言され、愛の清潔、夫婦の關係、離婚の事等には、キッパリと解決を與へ給ふた。元來政治法律は、時代の弱點、情實に絡まれて、眞實の事を實行し得ない事がある。それ故政治法律は理想から見れば、不充分な低級なものであつて、法律で許して居るからと、どし〳〵やつたら大變なものが出來る。我が日本に於ても、人々は常に政治、法律を超越した高尚な思想を發揮して、次第に政治、法律を高きに引張り上げねばならぬ。此の力を與へるものは、實に宗教の力である。今日我が社會に於ては、日比谷の大神宮、其の他神前に於て、神代を形どれる結婚式が行はれ、近頃はまた佛前に於て「末は同じ蓮の臺に」と云つて結婚式を擧げる。男女間の道德、結婚の事は、法律や教義でやつて居るより以上に、根本的に有効な宗教の力に依らなければならぬものと、世間の注意が傾いて來たのである基督教に於ては昔から男女は互に神によつて結ばれ、人の左右すべきにあらずとして、主エスキリストを中心に於て結婚を取結んで居る。天主教に於ては結婚式を聖典の一つに數へ惠みに成長する初めとなして居るが、新教もこの點は保存すべきことゝ思ふ。夫婦の愛情は玉の如き嬰兒によつても教化され堅固にさるゝは、私共の常に見聞する所であるが、それよりもエスを一家の主として、其の高き理想の下に朝夕膝づいて祈りつゝ、そこを目標として進む時には、無限に進歩、向上して、遂には神の高きに達する事が出來る。實際私共の見聞する家庭に於ても、もし夫婦間に主エスを知らなかつたら、いかに悲惨な事件が湧いて居るだらうと感ずるやうな家庭が、實にこの痛みの爲めに聖化され、其の人格も高められつゝあるのを見る時に、人の力にあらず、神の惠みに哺まる、家庭の、祝福を思はざるを得ないのである。人世は常に樂しい春ばかりではない。花に戯むるゝ胡蝶を夢むる甘き愛も、程なく移ろひ、やがて實生活に入れば堪へ切れぬ程の苦艱にも遇はなければならない。二人が共に居れば、其の長所を認め合ふ機會が多い如く、短所も常に目に附き易いのである。互に神の高きに照し合はしつゝ、己れを省みて教養を積み、仕へ合ふによつて、洗錬されたる男女の愛をも味ふ事が出來、またかやうにして磨き上げられた人々は終に此の世の政治、法律をも、次第に掲げて、情實の爲めに蔽はれて居つた人世は次第に發揮して、男なるが故に特權を恣にする事を許さず、女なるが故に屈辱の生涯を送るに非ず、何れも人間の本性たる高き生活を樂しみ得るに至るであらうと信ずる。（婦人矯風會主催貞操問題講演會に於ける講演の大要）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

花ならば白梅（上）

氷雪を冒して匂ふ三角女史

□四學士の姉

昔から女は弱いもの、と定義が定められてゐる。その弱々しいと見做されてゐる女の身でありながら、しかも何等の安まる財産もなくて、唯、自分の細腕一つを賴りにして四人の弟を、夫れ／＼大學を卒業させ學士とした健氣な婦人がある。名は三角錫子女史と言ひ、加賀の前田藩の人、明治二十五年の春櫻の花の吹雪と散るお茶の水の女子師範を卒業された人である。一人の子供を、一人前の人間に仕上げることさへなか／＼容易な業ではあり得ないものを、まだうら若い女の身空では苦心のほどもさこそと偲ばれる。

□只一心を味方に

『幸ひ弟達はみんな相當の成績を得て居りましたから、卒業後に御返却すると言ふ條件を附したら多少お金の融通もつきませうし、あんなに苦しむ必要もなかつたのでせうけれど、弟達に充分敎育をうけさせたい、と言ふのは要するに單に姉としての私の慾望であつて、何等弟達の知つた事でありません。夫れだのに卒業すると直ぐ、お前の學資を作るために、姉さんは之れだけの借金をしましたよ、だからお返しするやうに之れから働いて下さい。などヽ申す譯には參りません。言つたからとて彼等は決して嫌ですとは言はないでせうが、自分の慾望を滿足させながら人に迷惑をかけるのは私として忍びないことでございます。で私は苦しむことは隨分苦しみました。殊に弟を高等學校へ入學させる時などは、保證人になつて下さる方すらなくて方々をかけずり廻つて困つたほど物質的には貧しい生活をいたしてゐました。でも私は、お金の前に屈從することはどうしても出來ませんでした。働かう、働かう、と十數年の間は一心に他を顧ずして働きました。』と女史は曾つてその當時を追憶して仰有つたこともあつた。そして、『物質的の苦痛は要するに精神的の苦痛に比したら何でもありません。』とも仰有つたことが有つた。

□多能の女史

女史は今年四十五六にもなられやうか、女中がはりのお勝手のことから、養雞園藝の一切を一手に引きうけて、今は下澁谷の氷川の森の邊りで靜かな生活を營んでゐられる。朝はまだ眠りのさめ切らぬ四時に起き出でヽ六時までは必ず讀書なり書物なりをなさるのだと言ふ。讀書は何でも好んで手當り次第に繙かれるけれど、文藝物は西洋の飜譯物の方が力強くて殊に面白いと仰有つてゐる。和歌の造詣も深く四季折り／＼の美しい思ひは、詞べゆたかに留められてゐる。

『私は仕事をしてゐる最中などに、フッと面白い句を考へつくことがございます。そんな時に直ぐ書き止めて置かないと忘れ勝ちでございますので、至る所に小さなボールドをかけて置き書き止めて置くやうに致して居ります。』とも仰有つてゐた。頭腦も明晰で、數學は天才的に秀でヽゐられる。

□特筆すべき奮闘時代

明治十年頃父母に伴はれて故山金澤を後にして各地に轉住し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二十五年の花咲く春女史はお茶の水の女子師範を卒業なさると直ちにまだ雪の白く積つてゐる北海道へ赴任なすつたのであつた。夫れから十年間は女史にとつて生涯特筆すべき奮鬪時代であつた。四人の弟と共に父の家族を引きうけられたのも此の時である。妻として忍ぶべからざる苦痛をなめられたのも此の時である。が女史は靈肉の二方面から來るこの大なる戰ひの矢表に立つて、尚ほ勇士として男々しくもすべての誘惑から遁れて家族を被護して奮鬪されたのであつた。今は美髯を貯へ、子供を膝の上にのせてあやしてゐられる弟さん方が、さながら慈母に對するやうに、『マヽ』『マヽ』と言葉優しく呼ばれるのを聞いても、女史のありしその日の眞心が見えて美しい。

『物質的の苦痛より精神的の苦痛の方が苦しい。』と仰有るほどその間にはさまざまの運命に遭遇なすつたことであらうけれど今は世間から超越した人のやうに、何事に向つても唯微笑を洩らされるばかりである。その達觀し切つた顏は何時も和やかにさえてゐる。

『世の中と交渉をつけるのは嫌だけれど、舊師の御恩に報ふる爲に……。』とて女子音樂園を保護し、傍ら寺小屋式の尤も自由な教育主義をとる常磐松女學校の經營の任に當てゐられる（民子）

開かれたのに、博士夫人はぎくりと身の怠りを、責められたと申します。▲久野さんの音樂會の日、聽衆の一人に交つて居られた幸田女史は、感極つて兩眼に一杯の涙を湛へて居られたのも其の苦、嘗て久野女史がヒヤノを初めて聞いて、琴によく似た音のするものと思はれたといふ其の幼時から、天才を見抜いて、殊更らに心を盡してそゝし立てられたのは、幸田女史であると申しますもの。

噂

▲女子大學の教授ミス、フイリツプスは、英國ケンブリツヂ大學の秀才と呼ばれた方であるが、日本に來朝されて十五年間、にんさうに靜かに學生の教養に心身を碎かれて居られる。それでも意見は英國式に大膽に仰しやる方。某博士夫人がお子さんの英語をお頼みに行かれた序に、「日本の子供は西洋の子供と違ひますか」とお尋ねすると「さう、少し違ひます。けれど大人はこんなにも違ひます」と兩手を一ぱい

儉約物語（四）

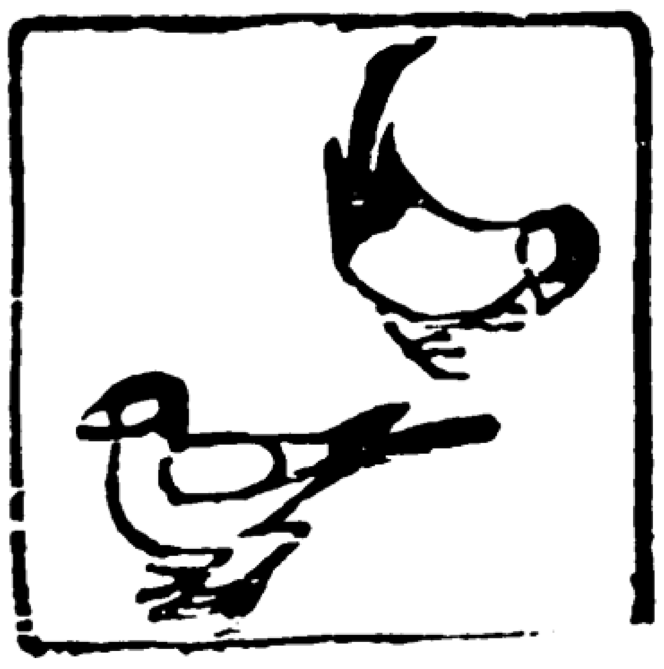
そーら火事！

近藤浩

こゝに儉約家として有名な老人がありました、何でも大さうな御金持になつたといふ、評判ですが其住宅は昔のまゝの見すぼらしいものでしたが老人は一向平氣で、御機嫌のよい時なぞは來客の前へ貯蓄した、財寶を一抱にして持つて來て、金貨や貨幣を一々積み上げながら、これは柱、これは疊の分、これが湯殿、倉、物置、茶室、池、なぞと區分してそこに立派な邸宅を建設します、そうして、おいて突然『そーら火事』と叫びながら兩手を擴げてそれを一抱えに引浚つてもとの袋へ仕舞ひ込んでしまひホツと息をついて『これが一番安全な住宅です』と得意の笑を洩らします。

七

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



滿妻

在大連　臼井龜雄

□「灣妻」と「滿妻」

臺灣に「灣妻」なる言葉がある如く、滿洲にも「滿妻」と云ふ名詞がある。これを極く簡單に說明すれば、臺灣なり滿洲なりだけに於て何某の妻と云ひ得るもので、所謂內縁の妻或は妾に相當するものである。尤も此中には內縁の妻或は妾なる名稱を脫脚して、戸籍上立派な正妻たるものも含んで居るが、これ等も依然滿妻たる精神を有つてゐる者として、世間から卑下されずには居られない。

□殖民地と醜業婦

何故恁う云ふ特殊の名稱を浴せられる奧さんが多いのであるか。それは殖民地の開かれる當初に於て、其處へ流れ來る者の多くが、未婚の男子、或は妻子ある者にして活動の自由を欲する處から單身渡來した男子さ、其等の者を對手とする醜業婦の群であるからである。新開地の起されるや、最初そこに建てられるものは、倶樂部にあらず寺院敎會にあらずして、怪しげなる料理屋であることは、日本內地にも見る事實であつて、殖民地に於て其傾向の一層顯著なるは眞に遺憾とすべきで、そこから文明に逆行する夫婦が生れ、そこに物質文明の建設者として未開の地に來た人々の精神的墮落の悲劇が演ぜられる。

□新聞の社會記事

試みに新聞紙の社會記事を見れば、如何に多くの悲劇が滿洲に棲む邦人の家庭に起りつゝあるかを覗ふことが出來る。一儲けせんものと郷里に妻子を殘して渡滿した男が、最初の一年半年は妻子への送金も缺かさず眞面目に働いてゐたけれども、漸く腰が落着くにつれ醜業婦の虜となり、遂に郷里の妻子に背いて、あだし女と同棲し、其處にまた罪から生れた罪なき子を設けたれど、一變泥に塗れたる所謂滿妻は、夫の地位の向上に伴ふて品位を保つ能はず、唯衣食住に氣儘放縦をこれ事とし、或は賣笑婦の本性が拔けず夫ならぬ男に笑を送る等の事より家庭に風波絶えず、さりとて夫に相當地位も出來ては世間への體面上離婚もならず自が罪に悶えてゐるとか滿妻の姦通などは常に新聞紙上目に觸れる事である。

□可驚醜業婦の跋扈

大連の人口は日本人約四萬であるが、其中藝妓及び酌婦とて公然醜業を許され、官憲之れに對し一般的强制的に衛生上の監督を加へてゐる者實に一千を超えてゐる。尚ほ滿州到る處日本人の住する地は勿論甚だしきは支那人露西亞人のみの地に笑を賣る日本女子あり、全體の數は餘程の數に上る。或る官吏が滿蒙の奧地を視察しての土產談に『日本人發展の先驅者は彼等醜業婦也』と云つたが、恁うなつて唯に道德上の話でなく日本國民の體面に關する問題である

□廓淸の兆見ゆ

日本が滿州開發に着手してから茲に十年、殖產興業上相當の功績を收め、敎育の施設亦漸く調はんとして居るが、未だ善美なる風俗慣習起らず、精神的病弊の多く刈り取られぬのは遺憾千萬であるけれども、今や漸く健全なる者多からんとし、殊に滿妻の如きを新家庭に見出す事尠くなり、敎養あり德操ある婦人が家庭の主婦として渡來する者日に多きを加へつゝあることは、眞の文化を滿州の天地に布き、大和民族をそこへ移し植えんとする大目的に進む上に眞に欣ふべき傾向と言はねばならぬ

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

若き婦人の職業案内（五）

タイピストと世間の待遇

高女卒業の私

芝川商店内 笠原つね子

口私は大正二年府立第一を卒業後、暫く宅に居て、家庭の事を手傳つて居りましたが、唯だ毎日〳〵を、纔かに家事の手傳ひ位ゐで、過して了うのもつまらないと思ひ、或る人の御紹介で、タイピストの西内先生の事を知り、丁度學校時代から英語には興味をもつて居りましたから、兩親に願つて早速御厄介になる事になりました。然し其の間には家の者の反對等も起たりして一と通り覺える迄には可成りの苦心がありました。

口昨年九月初めて、新設の某會社に奉職するやうになりましたが、秩序が立つて居なかつた爲めか、朝は八時から、夜は八、九時迄タイプライター以外の仕事に迄、少しの休みも無く追ひ使はれて滲々世智辛い世間の味を味ひました。而し二ヶ月の後には、會社が閉ざゝれましたので、私共も同時に解雇され、本年の三月この芝川商店に出勤するやうになつたのです。こゝは大會社と同樣に、朝九時から、五時迄で、三十分と歸る時間が遲れる事はなく、主任の方が非常に親切にして下さいますので前の會社の事を考へますと、勿體ない程樂でございます。

口私などは語學は女學校以外は、西内先生の商業部でお習ひしたばかりですから、隨分不自由の事が多うございますが、それでも手紙位ゐはどうにか書いて行かれるやうになりました。一番困りましたのは、表を解り易く書く事でした。尤もこれがすら〳〵と書ければ一人前なのださうですが……。『手當ですか』只今は這入りたてゞすから十五圓ですが、御辨當は此處の食堂で作つて下さいますし、あれこれと、可成り細かい處まで御注意下さいますから、大喜びで働いて居ります。年末賞與も幾分はあると云ふ事を伺つて居りました。

樂な仕事

大倉組 某タイピスト

口私は某學校を卒業してから、數年間田舍の女學校に、教鞭を取つて居りましたが、職を止めて、歸京いたしました處今から四年ばかり前の事でしたが、市ケ谷の女子商業學校で、タイプライターを教へて居りましたので、遊んで居るのもと思つて出掛けました。タイプライターで奉職致しましたのは一昨年此處へ參ゐりましたのが、初めてゝ今日迄續いてやつて居りますが仕事の上の苦痛は餘り感じた事はありません。唯數字を並べるのと、機械等の專門語は、今迄見馴れて居なかつた丈け初めの間は隨分閉口いたしましたが、只今では何でもなくなりました。

口此處には專門學校、高女卒業其の他で合計五人居りますが、誰れでも初めて入社した時は、學歷の有無にかゝはらず、十三圓乃至十五圓位ゐから使つて行つて、現在最高給を得て居るのでも二十五圓位ひとの事ですが、會社が大きいだけに、雇主との細かい交渉が少なく、又毎日の仕事もそんなに忙がしいと云ふ事もありませんから、仕事以外に自由の時間が澤山あつてお勤めには、一番樂だと思ひます。賞與等も年によつて異ひますが、少なくとも二ケ月半分位ゐはあるやうです。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

コドモのからかひ

村尾節三

□からかひの種類

からかふといふ事は昔は爭ふ意味に使はれてをりましたのが今日では揶揄するといふ事になりました。子供は六七歳頃から揶揄する事が始まります。大人の揶揄は複雜でありますが、子供のは極く單純であります、それにも言語を弄してするものと動作を以てするものとあります。おとし穴を拵へ人を落し入れて喜んだり、とほせんぼをしたりするのは凡て設計して直接人の身體に影響を及ぼすのであり、暗い所で氣味の惡い音をさせたりするのは精神上にいたづらをするのであります。揶揄は亦視覺に關係したのが多い「誰かさんの阿呆提灯買ひにやつたらば……」とか禿げ頭を見ては「禿さん〳〵向横丁に火事がある」とか又「チャンカ〳〵〳〵」とか又子供の名前に依つてからかふのや性質に依つて慾の深いのにからかつたり、「泣き虫毛虫挾んで捨てろ……」だの「男と女と豆煎り……」だの或は又質問に依つてからかふのがある「何だら坊ちやん柿の種」だの、返事をさせて「アイは紺屋の紋所」「エは神明前」などいふことは歴史的の揶揄で、昔芝神明前が繪草紙やの名所であつた事からきて居る。私はこれらの種類は地方のも加へて百以上集めてみた。中には極めて野鄙な淫鄙なのもあります。

□罪のないのは遊戯の一

これらの揶揄も段々交通機關が便利なので諸方へ移つて行くのであります。滑稽な最も罪の無いからかひは、兒童としては一種の遊戯でありまして、時には快い情愛さへまじります。けれども性に關するみだらなものや、汚い感情の交つたからかひ方はやめたいものです。子供なるが故に尚更ら憎らしい厭な感のする揶揄があるものです。其にがい經驗を忘れないうちに知らせてやめさせる樣にしなければなりません。これに反して滑稽なあどけないからかひは、された方でも惡るい感じはせずに共に笑ひたくなるものです。くどく、濃厚いのは困る事がありますが、からかひを云ふ子供を無理に怒鳴りつけるのは子供の性質を偏屈にするのみでありますから、餘程保護者は手加減して、戒しめなければなりません。

（學藝談話會二十分演說の一節）

久野さんの演奏會
世界的ご推賞

□十二月三日午後二時から上野の音樂學校で久野久子女史の快復祝賀の演奏會があつて、非常な盛會であつた。ベートーエンのソナタ、アツパシオナタの大きいのや、グリーヒ、メンデルスゾーンの奇麗なのや、ショペン、リストの手のこんだのなど、いろ〳〵な曲を八つまで女史獨りで彈いて聞かされた。ショペンの第一大司伴樂とリストの匈牙利狂想曲とに女史の先生なるショルツ氏が第二ピヤノを彈する筈なのが差支があつて出られなかつたのは不本意だつたが、それでも女史の達者な演奏振を聞くには別に不足はなかつた。

□演奏が終つて廊下へ出た聽衆の中で田中（正平）博士が人に云つて居たのに、「日本も追々世界的になつて來て結構ですね、ショペンのあのエチュードをあれだけに彈きこなすことは容易でない。あれなればどこへ持ち出してもはづかしいことはない、なにしろ愉快なことです」多年お得の[illegible]で音樂の方面にも關係されて居た博士が「世界的」と評される女史が恢復されて此[illegible]ふに至られたことは喜ぶべき限りであらう。（聽衆の一人）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

あばら屋の寒さ

防寒設備の無い都會生活

薄田斬雲

□東京の冬

東北人が、東京に出て、餘計に寒がると言ひます。東京は東北よりはズッと暖かい筈です。寒暖計は之を證明して居ます、併し防寒設備が無ければ東京も東北地方より寒く感じられます。富貴の家庭ならストーブを十分に備へ得るから世話は無いが中流家庭ではストーブは備へられません、手あぶりの火鉢一ッでは東京の冬も隨分寒い事です。

私は東北端に生れて二十歳迄は郷里に育つた者です。未だに東北の冬凌ぎは、東京の冬よりも樂であつた樣に思ひます。

□爐と炬燵の趣味

東北へ行くと、何處の家でも座敷以外の室々には爐が仕切つてあり、澤山に炭火を置いてあるから鐵瓶はぐら〳〵と沸ぎり室内はむつとする程暖かいのです。炭は東京の三分一位の値段で買へるから、大きな爐の椽板が燒焦げる程に火があります。火鉢の樣に、鼻尖きばかり熱くて膝が寒い事はありません。全く身温まるのです。夫れでも寒いと大きな櫓炬燵をかけます、まるで風呂へでも入つた樣に全身汗びつしよりになる程暖かい炬燵です、炬燵の上に酒肴の盤を載せて、大吹雪の夜に太平の酒を酌むなどは到底東京に得られぬ情趣です。

□氷滑りの往來

外へ出たら大變寒からうと言ひますが、成程朔風亂雪を捲いて寒威指を墜す樣な苦痛もあるものゝ、其實、私の經驗から言へば、東北の冬の外出は、單に寒いのではありません。道路の雪は凍つて、鏡の如くつる〳〵滑るから、駒下駄では、足を掬はれて仰反けに轉倒する虞れがあり、爲めに何れも日和下駄を穿きます。其代り日和を穿いて鏡の樣に凍ふた道路を歩るくには、緩つくり歩を運ぶ事は出來ません、何れも駈ける樣にから〳〵と早足になるのです。滑るからあぶないのと、夫を巧みに中心を取つて歩るくとで、大變な運動になります。二三十分も歩くと汗びつしよりになります。夫れ丈け身體は暖かくなるのです。

□思想感情迄氷結する

スパルタ主義の豪傑に言はせると、人間は寒さに抵抗して、火鉢なんかを廢せといふのですが、自分獨り机の前にでも坐る時には、そんなスパルタ主義は通用しません。土臺スパルタ主義は、烈しい立廻りをする事で、机の前に坐る事ではないのみならず、スパルタは、希臘の暖國に存在した國で、冬でも火鉢を要せぬ土地なのです。之を直ちに移して東京に當てはめるのは無理です。日本人は、南人北進して繁殖したので、日本の家屋は、熱帶暖國の設備です、世界中、可なりの文化國として、同じ緯度に位する國土で、日本程に防寒設備のない家屋はなからうと云ふ事です。冬のあばら屋は寒いものです。朝鮮人は溫突を造つて冬期を最も樂しい生活にして居ます、露西人はペチユカを設け、サモワールと言ふ大きな湯沸しをかけ、此のサモワールのお茶と之に副ふべきお菓子を樂みに長い冬期を愉快に送る事を工夫して居ます。北滿、滿洲には、朝鮮の溫突に似寄つた、暖室設備があり、冬を氣樂に過すのです。我々東京の中流家庭は、物淋しい、底冷えのする、最も不愉快な冬を嘆つとい

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふのは、甚だ情ない事です。夫れでも、手細工でもする樣な事ならまだしも、讀書子に取つて手のかじかむ樣な寒さは、思想感情をも氷結させて了ひます。

□温突式の家室

本座敷丈けは、爐を仕切る事も不便ですが、書齋とか茶の間とかには、安全な爐を仕切る習慣を起したいものです。そして炭が高價だと言ひますが、他にだらしなく消費する小遣錢を節して、炭の方へ廻はしたら、東京の冬も少し樂しく過ごされるでせう。琉球臺灣には、防寒といふ事は不要でせうが、日本の本土には、モッと防寒の工夫が入用です。火の氣の少ない家の生活は亡國生活です。こんな不景氣な事はありません。瓦斯ストーブを使用した實驗談では大變高價に付くといふし、石炭ストーブでは疊の上には不潔不調和です。日本に手取り早く行はれるのは、朝鮮式の温突でせう。温突式の家に住んだら、東京の冬は甚だ樂しいもので、仕事も勉強も大いに捗取る事と思ひます。率先性に富む義俠家が先づ之を試みられん事を希望します。若し夫れ、「温突は朝鮮を滅ぼした」といふ説が成立つならば、「絹物を着るから日本人は貧乏する」といふ説も成立つでせう。

クリスマスの贈物（一）

花籠入りの

壜細工

大妻技藝學校長　大妻一惠

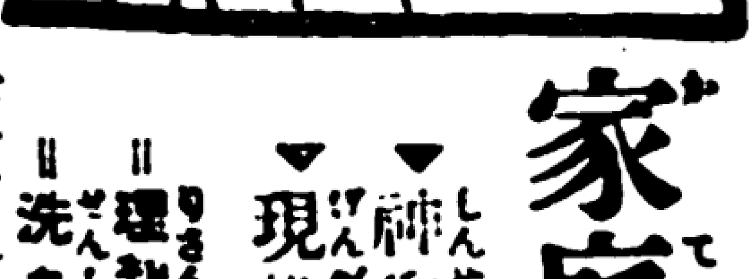
壜細工はどこでも秘傳になつて居るさうですが、本誌の爲め特にその秘訣をお打ち明け下さいました。冬の夜長のお慰みに是非お試みなすつて御覧なさいませ。

□花籠を入れる前

初めに花籠と硝子壜とを用意して置き、硝子の壜は水で洗つて奇麗にし、別に花籠は、御飯蒸しのやうな少し深目の鍋（アルミニユームでないもの）に入れて、其を蔽ふ位の水又は湯の中に、重曹を一錢ぶりばかし入れて、三十分間程煮るのです

而うしますと花籠が稍々赤味を帶びて、軟かく自由になるやうになりますから、それを出して熱い中に手早く、細く丸めて硝子壜の口から壜に入れ一尺指の如き丈夫の棒二本で花籠の形を充分に調へ、次ぎに先きの曲つた強い針金へ籠の蔓をかけて、一方籠を他の棒で押へて居ながら、出來る丈け蔓を上へ引き上げて長くして置きます。これで籠が乾きます樣に日向にさらして二三日置きますと、水氣が除

十二



家庭の化粧（14）

▼神聖な家庭の象徴▲

▼現代要求の化粧法▲

＝理想的の洗身料＝

＝洗身料と美身料＝

されば洗身料としての理想はいかなる作用と効力とを有するものであるかといへば、化學的に皮膚の表面にある汚垢を殘りなく吸收し包容して、それを輕く擦つて物理的作用を施せば、それで汚垢はよく落ち、而して皮膚を害しないもの、更に進んでは皮膚を損じないやうに汚垢を落すといふばかりでなく、洗つた後の皮膚の營養を增して、美しい皮膚を作るといふものでなければなりません、此の理想を遺憾なく實現せしむる洗身料としては、クラブ洗粉の外には他のいかなるものを以てするも認め得らるゝものはないのであります。

汚垢を落すに石鹼はあります併し皮膚の角質を腐蝕せしむる

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

れるにつれて、赤味を帶びた籠は次第〳〵に干いて前のやうな眞白い色にかへります。

□盛花の入れ方

全然干上りました時に、花籠の蔓を壜の口から少し引き出して、巾半吋長さ一尺五寸のリボン（色は隨意ですが、眞紅はどの花にもよく配ります）で蝶結

出來上つた盛花入りの壜細工

に結いて亦壜の中に入れ、三寸乃至五寸位ゐの長さの、忘れな草、ばら、菊、菫等の造花を本の方から壜の中に入れて、中で具合よく盛花にし、口栓をします。終りに巾一吋長さ三尺のリボンで、壜と口栓と離れないやうに結びます。

＊　＊　＊　＊

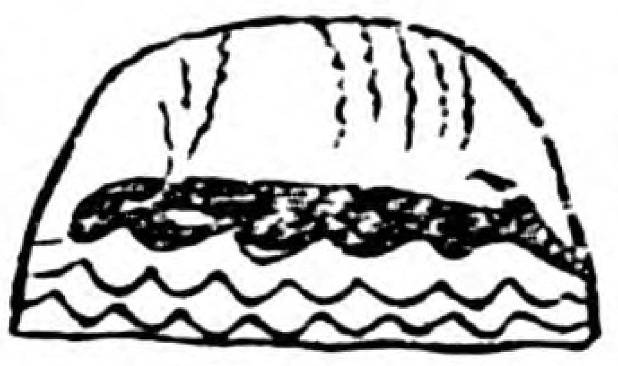
これをお造りになるのでしたら、大妻女史は材料全部左の實費にて、殊に本誌讀者の爲めにお分ち下さるとの事です。

硝子壜二十錢、花籠十五錢、造花五十錢、口栓六錢、

もし御入用の方は、荷造料、小包料として廿七錢を添へて本社へお申込み下されば、讀者の御便宜を計つてお取り次ぎいたします。又完成したものを御入用の方には、金一圓五十錢でお分けなさるとの事です。これも荷造料送料前同樣でお取次ぎいたします。

初冬の魚貝

記者



□秋刀魚の味噌漬　秋刀魚の尾頭を取り、二つに切り　味噌を酒にてのばし、二分して一方の味噌の上に紙を敷き、上へ秋刀魚をのせ、再び紙を敷き、殘りの味噌を上へのせ一晩位置いて焼き、溫める際に七色を添へて出せば、時節柄最も氣の利いたものとなります。

□鰈のおろし煮　鰈を適宜に切り煮出汁、味淋、醬油等、煮汁を澤山にして、餘り鹹くならぬやうに鹽加減し、煮え上がり際に、大根おろしを入れ、一二度煮沸し皿に盛つた上からおろし汁をかけます。

□鰆の醬油燒　鰆の切身を一時間許り醬油の中へ浸け置き、金串を打つ、背の方から燒き串を捻つて、片面も燒き、浸け置いた醬油をかけ一寸炙つて串を拔き、皿へ盛ります。鉢肴としても宜いものです。

□牡蠣のおろし和へ　牡蠣の成るべく小さきを取り、ざつとゆがき、酢に取り置き、大根おろしをおろして是れへ水をたつぷり入れ、布巾へ包み、餘り堅くなく絞り、酢をかけ再び絞り柚子の薄皮をむき細かなあられに刻み、大根おろしに交ぜ酢、味淋、鹽を少し宛を加へたものへ、柚子の汁を絞り込んだ汁をかけ、かきまわして器へもり、尚是にコーブを茹て、細かに刻んで上からかけて溫めれば、上品にいたゞかれます。

□寄せ揚げ　海老、烏賊、三つ葉などこまぐ〵に切り、玉子で溶いたメリケン粉にかきまぜ胡麻の油を煮沸てゝ揚げます。

□練習生募集

尋常小學校卒業の者。三ヶ年卒業。月謝免除。材料貸與。二學年よりの製品に對して工賃支給。卒業の上は教師として採用又は紹介（規則書郵券二錢要す）

東京市九段靖國神社横

私立 大妻技藝學校

虞れがあるばかりか、汚垢は落ちるが營養は與へません、他の糠や、豆などの舊式な洗料になつては、汚垢を落す上に缺點があり、使用の上に不便があり、到底滿足な結果は見られるものではありません、其他人眞似小眞似の似而非洗料に至りましては、原料の不穿鑿や、調和の不整などから、洗粉としての効力が乏しくその作用が遲鈍な爲めに、洗粉としての用を爲さぬのが多いのであります、此の紛々たる類似似而非品の多い間にあつて、獨りクラブ洗粉のみは、汚垢を落す上に於ては、石鹼よりも遙に優り、營養を增し皮膚を調へることは、牛乳や玉子よりも遙かに勝つて、化學的に汚垢を吸收包容し、殘りなく落すとゝもに、皮膚に營養を與へ、常に皮膚の機能を活潑にして、潤澤のある美しい皮膚にする効力の偉大なことは、洗身料たるのみならず、眞の美身料はクラブ洗粉であります。（廣告）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小說

暗調（六）

てい子

「戀愛の流產ですか、一幕物にもならないんですね」やがて吉村は紛ぎらはすやうに笑つた。

「幾幕つゞいても悲劇ですわ、私は貴方の愛の歴史に序文をかいてあげたのね」

と不二もさびしく微笑した。

「私は戀愛の獵人になつて、いくつもの物語をつゞろうなどゝは思つてゐませんよ、眞實なものが唯一つあればそれで澤山です。貴方のかいて下すつた短い序文は恐らく私の生涯に於て長い本文よりも反つて光ることとでせうと。」彼は眞面目な皮肉に出た。

「私が惡いのですわ、生育られない愛だと始めからわかつてゐながらお應へしたのですから、おわびしますよ」

「何方がいゝとか惡いとか私は云はれないと思ふ、それよりも自然の底から素直に芽き出た愛をなぜ否定なさるのでせう、否定の生活は貧弱な、むしろ虛僞な生活だとお思ひになりませんか」

「……………」

「私は自分の生活に於てあくまで否定はさけたい、何物をも一度は肯定する、そしてよくよく吟味した上で要らないものはそつと置いて行く、どんなものでも、或はどんな感じ考えでもなにかをもつてゐますからね、それを正しく認識する人は實に幸福だと思ふ、實在相そのものに近づき得る人だと思ふ、眞に正しい生活がそこに打建てられるのでないでせうか」と吉村は強く言つた。

「それは頭ではうなづける哲理ですけれど、私の生活をそこに運ぶ事は出來ないのです」

「何故でせう」と彼はまた繰りかへしたが、ふと氣づいたように、「そのお答へは聞かしていたゞけないのですね」

「ゆるして下さい」不二は苦しくわびた。

あくまでも自己を正しく見詰めて、人間的に強く生きやうとする人の哲理などは自分には當てはまらない。反つて逆に、消極的に、それでゐて強く自己を守らなければならない特殊な私なのだ。「運命の自覺」は私を狹い小さい天地に膝まづかせる。「種族的の責任」は嚴そかな見張りを私の上に怠らない。此の自覺と責任の前に私はどこまでも柔順であり、聰明でなければならないのだ。不二は落ちついた頭でこう思つた。

「否定に出なければならないのは私にとつて悲しい痛い事實です、然し私は貴女に感謝しますよ。私はいまゝで接した誰よりも貴女によつて多く實在の形相を示していたゞいた、そればかりではない。」

彼は靜かな語調にかへつてさゝやくやうにつゞけた。

「私は貴女の內に非常に美しいものを見たのですよ。貴女と話す時に私は一番幸福だつたのですよ。」

「私も戀愛のまへにはやさしい普通の處女でありえた。これはどんなにうれしい發見だつたでせう。戀を知らない前と知つてから後の私の內生活は判然した區劃に染め分けられてをります。もし戀愛を素通りにして行く私であるならば、更に冷く僻みいぢけてしもふかも知れません。枯寥な冬の野のやうに。私は苦しみながらも戀愛の幸福を知りました。たとひその中に永住されないにしても、一度握つた寶玉を眺めかへすことによつて慰めをうける事は出來ます。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

空想に詩に掬ひ入れる自由な樂しみもあります。大きく云ふならば人情の機微を噛みしめてゆく上の助けともなりませう」
不二はそう云つて吉村に感謝したかつた。でも言葉にするとひどく不自然になりそうなので默つてゐた。甘い悲しみの涙が彼女の胸を濡れ潤した。
こうして二人は戀愛から別れた。そして再びふみ越えてはならない線をその間に引いた。その線を境にして二人はどこまでも並行した歩みを執ろうと誓つた。むしろ不二から誓ひを強ひたのであつた。彼女の頭ははじめて安易の吐息をした。戀愛そのものよりもこうした解決をつける爲めに不二は長い苦しみをもつてゐた。今度は二人が言葉に結びつけての解決であるから破つてはならないと、義務の概念まで引出してきて誓ひに忠實ならしめやうとした。けれ共無雜作にそれに從つてゐないものが元通り心の中に住んでゐた。意志の鏈りでどんなにかたく紮げても、理智の苔杖のはげしい虐げに會つても、それは驚きも衰へもしない力をもつてゐた。そして少しの機に乘じて叛逆を企てた。誓ひの引線を平氣で噛み切つて彼は走り出やうとした。頭はおきにそれを捕へて批難した。各々の主張を立て通ほそうとして彼等はよく啀みあひ、軋り合ふのであつた。
此の自己分裂の動亂は依然として不二の心に絶えなかつた。かへつて複雜するばかりであつた。
「純淨な廣い愛に生れなければならない。戀愛はどこまでも利己的なものだ。必ず獨占の要求が伴つてくる。お互を自分の唯一人であらしめたいといふ慾望の動きを、戀愛から消すことは出來ない。戀愛を純愛に轉化せしめよ」彼女はこう思つて更に新しい一歩を蹈み出した。

讀者から

桑港大澤夫人ます子様から
『いつも誌上で御樣子を伺つて居りますので、昨今では遠く隔つて居る方のやうに思はれなくなりました。婦人問題も可成やかましくなりましたれ。日本の事情が知りたくて、民友社發刊の「婦人問題」を先々月取寄せて見ましたが、說明澤山で、眞に日本婦人の希望の聲は聞かれませんでした。考へれば男子の作ですもの、無理はないとあきらめました。米國はお隣りの英國からお手本をとつて、うまく解決して、進んで行きます。本年の大統領改選當日の十一月八日は實にお目にかけたいやうでした。町の處々に臨時の天幕小屋が出來て、此處へ皆區域に屬する者が投票に出かけます。婦人も澤山ウ井ルソン、ヒユーズと思ひ〳〵に記名しに行くのを見ました。私共にも道行く人々は聲をかけて「あなたはウ井ルソン、ヒユーズ、どちらに投票します」と問ふのです。然し日本に生れた故に市民の悲哀を味ふとでも申しませうか、どちらにも投票する事が出來ませんでした。桑港にある日本人では只二人選擧權があつた許りです。何れも米國生れで、一人は桑港日本人會長塚本松之助氏の長男敬太郎氏(廿三)他共は同消費會社の東ヶ崎菊松氏の息潔氏(廿一)のみで塚本氏はヒユーズ氏に、東ヶ崎氏はウ井ルソン氏に一票を投じられましたが、兩氏何れも加州を禁酒州にする案に投票されたのは、遇合であります。新聞記者がこれ等の家庭を訪問した時に、折柄在宅された父君は、「自分は共和黨の政府の方が日本人の爲めによいと信じて、此の意見を子供に說いて置いたから、多分大統領にはヒユーズ氏を擧げたらうと思ふ。また禁酒問題は事業には影響するが、風紀の爲めには望ましいと申して置いたが、もとく投票は自由意志を尊ぶ事故、決して干渉はしませんでした」と。東ヶ崎氏の母君は「子供は目下バークレー大學の商科二年に學んで居るが、ウ井ルソン黨で、けふも其印を胸にかけて行つた程ですから、多分投票はウ井ルソン氏でせう。禁酒問題には私の家の子供ですから無論贊成でせう」と申されたとの事」▲相州鎌倉の一愛讀女樣から
「一日働らき疲れた身をお風呂に流して明るい電燈の下に初めてわれに歸り、高遠なる雜誌の頁を存分に讀く事が、私の此頃の唯一の樂しみになりました。雜誌に盛らるゝ精神は、私の心に生きて働らくと常に覺え、熱誠籠る御編輯に滿腔の敬意と感謝とを捧げます。世の惑へる多くの婦人が、此の警鐘に醒むる日の早からんことを祈ります。」

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

貞女物語 顔世御前（中）

忠臣藏と共に謳はるゝ

廣田花崖

□重きが上の小夜衣

侍從は承知はしたもの、さて實行となると相手は人妻である。無暗なことは云へぬ。一方師直からは日々酒肴などの贈物があつて返事は返事はと迫られる。詮方なしに顔世御前を訪ふて慾に誘ひ情に訴へ樣々の手を竭せど顔世御前は俯向くばかり強いて返事を求むれば、御身の繁々の御入來さへ浮名が立たうかと忌はしいとばかり、取り附く島も無い。

師直はあまりのいらだゝしさに、度重ならば情に弱ることもあらうと兼好法師と云ふ能書に艶書を書かせて若黨に持たせてやつたが御前は眼もくれずに庭へ投げ出して仕舞つた。師直は烈火の如く怒つて兼好法師には再び我家の門を潜るなと敎圍いた。そこへ藥師寺次郎左衛門公義が來たので師直は其實情を話して聞かせた。然らば拙者が代筆して見やうとあつて、藥師寺は若黨が拾つて戻つた艶書の表に斯う書き加へた。

返すさへ手や觸れけんと思ふにぞ、わが文ながらうちもおかれず。

顔世御前は一瞥見るとポッと頰を赧くして袂に入れ、其儘奥へ這入らうとした。若黨は隙さず袖を捉へて御返事はと訊けば只一言「重きが上の小夜衣」と云つてスーッと這入つて仕舞つた。之は新古今の十戒の歌「さなきだに重きが上の小夜ごろもわが妻ならぬつまなかさねそ」―から出たので、要するに貞女兩夫に見えざる意を云つたのであつた。併し無學なる師直は其意を解せず、衣小袖を調へて送れとの意かなど藥師寺に訊くので彼はよく其意を說明した。師直は又も失望した。さうして同時に其優にやさしい肱鐵のくれ方に一層の魅力を感じて、一入心をいら立たせるのであつた。

□湯上り姿

如何なる美人と雖所詮は岩木ならぬ人間、慕ふに靡かぬ女は無い筈と藥師寺は云つた。けれども顔世は靡かない。さうして師直は思ひ切らない。悶えに悶えた師直は又もや侍從を招んで、斯うなつたのも原因を云へば御身の物語ゆゑ、若し此儘焦れ死に死んだなら御身をも死出三途の道伴にするからと、苦し紛れの八當りを投げ付けるのだつた。猛烈な呪詛の言葉は侍從

十六 をして怖毛を振はせた。自ら播いた種子である。何とかせねばならぬ。で侍從は心の中に思ふやう、化粧してこそ顔世の前の美貌も世の常ならぬものである湯上りなどの素顔を見せたら左程でもなきに師直の執着の緩むこともあらうかと、數日の後鹽谷の館の中居の女中の手引に依つて、夕暮に紛れて師直を其館へ伴れ込んだ。其宵高貞は留守で御前は湯浴をなさると云ふのである。顔世は練貫の小袖をしほ〳〵とかいどつて丈なす黑髮を行方長く曳いて湯殿から出て來て袖の下に燒き罩めた薰香の煙をそこはかとなく匂はせつゝ奥へ這入つて行つた。師直は一瞥見るからにブル〳〵慄ひ出して其處へ我破と身を投げ臥したまゝ起きも上らぬ。が斯うさせても置けぬので侍從は漸く外へ伴れ出しはしたが、最う此上師直に關係してるのが空恐ろしく思はれて、間もなく人知らぬ田舍へ逃げて仕舞つた。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

□馬術天覽　天皇、皇后兩陛下には、三日午後一時廿分參内の東宮、兩皇子殿下御同伴、隨員を從へさせられ吹上御苑内馬場馬見所に臨御、主馬頭より一騎毎に其の曲技を聞召され、三時半御機嫌麗はしく入御あらせられました。

□澄宮の初御誕辰　本月二日は澄宮殿下の初めての御誕辰に相當致しましたので、青山御所の同宮御殿にては、同宮御附、宮内大臣等を初め百餘名のものに、御祝酒を賜はりました。殿下には益々御強健に御成長あらせられ、御體重の如きも實に二貫七百廿匁に渡らせられ、御腹這ひも御達者に遊ばされ、簡單なる御言語をも御發し遊ばされる由承ります。

□北白川宮妃名古屋御成　北白川宮妃房子内親王殿下には若宮永久王、姫宮美年子女王御同伴、三日午前八時卅分、東京驛御發車王殿下御任地名古屋に御旅行遊ばされ當分同地に御滯在の由です。

◉英國近況　▲内閣改造奏請　首相アスキス氏は、最も有効なる方法にて戰爭を遂行せんが爲め、皇帝に内閣改造を裁可せられん事を奏請しました。▲陸相辭職　陸相ロイド、ヂョーヂ氏は、戰爭遂行に關する、軍事會議の處置緩慢なるを不滿とし、尚ほ首相が「軍事會議員の數を減ずべし」と云ふ氏の提議を容れざりし爲め、愈々辭表を提出しました。▲提督更迭　ジエリコー提督は海軍々令部長に、ビーチー提督代りて艦隊司令長官に任せられました。

◉希臘の此頃　▲軍隊の引渡　希臘國王コンスタンチノスは聯合國の要求に應じ砲兵六個中隊の軍器引渡しを承諾しました。▲聯合軍と衝突　此の間の消息極めて漠然たるものですが、十二月一日突然希臘軍が攻勢を取り、次いで英佛伊の各國水兵及び佛軍は上陸して各所にて衝突を起したのであると傳へられます。

◉墺國先帝葬儀　國家多事の際にも拘らず、先帝の葬儀は前週木曜日に、維也納のセント、ステフエンス伽藍式場にて、最も莊嚴なる儀式を以つて執行されました。

◉英國對支要求説　英國は西藏に就き左の要求を支那に爲せりと傳へられます。

（一）印度より西藏に達する鐵道利權
（二）支那が西藏の政治整理の際には英國より借款する事
（三）英國西藏間の條約の有効なる事を支那に於て認むる事
（四）西藏の實業を開發の爲め英國人をして之を助けしむる事
（五）支那政府は西藏の英國借款銷却の義務ある事
（六）故なく支那は兵を西藏に送る可らざる事
（七）官吏の任命は英國と協議する事
（八）電信郵便の制度を行ふ事
（九）西藏の利權を第三國に割讓せざる事
（十）鑛山採掘は英國と合辦にする事

◉獨軍羅府に迫る　マッケンゼン軍は、今や首府ブカレストから十二哩の地點、ケドテック及びケーミーよりは十八哩の地點迄迫り、ファルケンハイン軍は首府より約三十哩迄進み、羅府は日一日と危險に迫まられて居ります。因に羅政府は此の程ジャッシーに引揚げました。

◉ニコライ太公轉任説　獨逸新聞は、高加索總督に左遷せられた、ニコライ太公が、露羅軍の總司令官に榮轉さるべしと傳へられて居ります。これは、露國がスラブ主義の理想を完成する斬新の第一歩で、太公は十三軍團四十萬の大軍を率ゐてダニューブ河方面に一大決戰を試むると云ふ觀測を巡らして居ります。

◉米國官營製彈所開始　米國海軍はブレマートン軍港に於て、初めて官營彈丸製造を開始しました。官營製彈所一個所建造のため議會が五百四十萬弗を可決したのは昨年度の事でした。

◉近く來朝の曹氏　支那政府にては、正式に日本皇室に敬意を表し、且最高勳章を奉る爲め、近く曹汝霖氏を特派し、一方日支の親善を計らんとして居ります。曹氏は少壯敏腕の外交官で、大の日本贔負であると申しますから、必ず其の使命を全うする事が出來やうと思はれます。

◉大山内大臣の重態　大山内大臣は、大演習陪觀後去る十七日歸京の途次、兵庫縣須磨に於て初めて上腹部に劇烈なる疼痛を覺え、以後日に衰弱加はり、醫師の診斷に依れば膽嚢炎との事にて經過益々不良に陷りつゝあります。

◉新朝鮮總督赴任　新任の朝鮮總督陸軍大將元帥長谷川好道氏は二日任地に赴かれました。

◉人夫一萬人を露國へ　目下朝鮮の北部と滿洲の一部地方より日鮮人の區別無く人夫一萬人の大募集を行つて居ると云ふ説があります。これは仄聞する處によれば、露軍屯集地點の後方勤務に服すべきものゝ由です。

◉永田丸擊沈さる　大阪の永田三十郎氏所有の汽船永田丸は、十一月三十日午後英佛海峽の西南ウサン島の附近にて、獨逸潛水艇の爲めに擊沈されました。同船は、一八八九年英國アラスゴー、エー、ステッヘン會社の建造にて、鋼鐵製三千五百十二噸、西貢より米を積みて佛國ハーブルに向け航行中此の難に遭つたのです。乘員は船長山本虎太氏以下三十九名、中負傷者六名、死者三名其の他は無事の樣です。

◉列車衝突　入營者を滿載せる東北線、白河發尻内行列車は、去月二十九日午後八時半青森を發したる三〇八號の貨物列車と古間木驛を距る南方約一哩の處にて衝突し、未曾有の大慘事をかもし、慘狀を極めました。遭難列車の乘車人員は六百十九名の見込にて其内乘客の死亡者二十六名、（即死十七、運搬中死亡三、收容後死亡六）重傷者六十九名、輕傷者六十三名にて鐵道從業員は即死者三名、重傷者二名、輕傷二名との事です。原因は信號機の故障との由ですが、責任者の處罰は免れざるべく、古間木驛助役都谷森正（四四）同驛夫山本健次（三〇）の兩名は二日八月分監に收監されました。

◉ハリス博士再び來朝　我が國に於ける基督教の恩人ハリス博士は、本年四月歸米いたしましたが、氏は最早古稀の齡を重ねたる事とて監督を辭し、餘生を、我國に送り青山なる、夫人及び令孃の墓側に眠らんと、去月二十七日ウエルチ新監督夫妻と共に天洋丸にて再び來朝いたしました。

◉府税の標準改正　東京府では、營業税及び雜種税の中にて、從來個數を標準として課税せるものに對し、六年度から營業用建物の賃貸價格を標準とすることに提案しました。

◉五圓紙幣が變る　一日大藏省告示を以って、五圓紙幣を改造し、來る十五日から發行の旨發表されました。寸法は竪横共少しく小形となり、左側圓形白色の部に社模樣を表はしたものです。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

●出超三億一千萬　十一月下旬の貿易は、輸出四千四百三十五萬二千圓、輸入二千二百五十八萬四千圓にして差引二千百七十六萬八千圓の出超を示し、一月以降の累計は、輸出九億八千八百五十八萬二千圓、輸入六億七千八百八萬四千圓、出超三億千四十九萬八千に上りました。

●花の日會の寄附　立太子式當日に野菊五十萬個を賣出した、婦人花の日會では、總收入一萬二千二百七十六圓廿錢の中から諸雜費を差引いた殘り、七千七十三圓八十三錢の純益金の中、六千五百圓を左の團體へ寄附し殘額は、同會常備費及び臨時費に繰り越す由です。

▲五百圓(精神病者救治會)　五百圓(共立婦人育兒會)　千七百圓(東京市立特殊學校十校)　二百圓(萬年小學校後援會)　二百圓(双葉幼稚園)　三百圓(無料宿泊所)　三百圓(盲人技藝學校)　百圓(刪橋育兒會)　二百五十圓(白十字會)　百圓(全生病院)　五十圓(濟民協會)　二百圓(傳道義會)　百圓(下谷青年會)　五十圓(杉山鍼按學校)　三百圓(福田會)　百五十圓(慈愛館)　百圓(橫濱市)　二百圓(同井小學校)　百二十圓(花の日會施療部費)等。

●南洋に赴く二人の看護婦　昨年九月、新領土なる南洋ヤルート島の病院に婦人患者の看護として招聘されたる、東京施療病院附の武生千歳(三〇)、大屋つた子(二七)の兩看護婦は今年九月が滿期にて歸京の筈なりし爲め、病院では其の後任者を選擇中でしたが、此の程高橋かよ子(三四)戸崎みつ子(二四)の兩看護婦が渡航の事に決定し六日出發いたしました。高橋看護婦は新潟縣の人、目下は看護婦會兼產婆を開業し、戸崎看護婦は栃木縣の人で今は同施療院の看護婦長に任ぜられて居りますが、共に小學校を卒へて、同院に入り、模範看護婦の名譽を得て居る人々であります。

●友成婦長に露國勤勉章　日本赤十字救護班に列なり露國に赴きたる、友成看護婦長に對し、廿九日左の如く同國勤勉章受佩允許あらせられました。

勳七等　友成富子

露國神聖「ウラヂミラル」綬附銀製勤勉章
並に同國「アンナ」綬附金製勤勉章

●前田けい子刀自上京　故奧村五百子、廣岡淺子兩刀自と共に、明治の三女傑と謳はれたる前田けい子刀自(六五)は久しく鄕里名古屋にあつて、奢侈に傾かんとしつゝある土地の婦人の氣風を抑壓し質素堅實の風紀を作るに努力されて居ましたが、此度令弟醫學博士前田珍男子が、神田駿河臺へ眼科病院を開設されたので、去月十七日令弟の一家族と共に上京されました。

●戊申俱樂部改稱　二條公夫人を會長とせる戊申婦人俱樂部は、今回婦人修養俱樂部と改稱し、二條公夫人は會長を辭されましたため、新たに鍋島侯夫人を會長に迎へ、日本婦人の早老の弊を矯め、新思想の折衷を圖り、機關雜誌をも發行する由です。

●將校婦人の絞染の稽古　十二月一日午前九時より四谷寺町の東福院に於て陸海軍將校婦人會主催の絞染講習が開かれました。當日は、三河子爵令姉、松永男爵夫人等を初め、十數名の將校婦人が集りました。

●藥劑師と家事科教員　今回發表された藥劑師試驗合格者百廿一名中女子十名。家事科中等教員檢定合格者十五名の發表がありました。

個人消息

△平田仲子　篤胤翁令孫にして故胤好氏夫人仲子は廿七日牛込市ヶ谷の自邸に逝かれました。享年七十。

編輯室より

▲前週は本誌いつもの通り發送致したにも拘らず、市內各所から夥しい不着の御報知に接して居ると、日曜朝になり、漸く入手したとのお知らせが再びありました。市內の配達に二日半を要するといふ事は、どういふ間違ひでせうか、只今局に就て調らべて居りますが、今後は週報らしく敏活にお手に入る事を計り度いと存じますから、不着延着等の節は、御遠慮なくお聞かせ下さいまし。▲今年もクリスマス號を發行するかとのお尋ねに接しますが、二十二日發行の分をクリスマス號及び本年の最終の號と致します。贈物として十部以上お用ひ下さる方には、定價の二割引で差上げますから、どうぞ御注文下さいまし。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絕對秘密の下に、結婚調查、人物調查、財產調查、男女學生品行調查・裁判上の證據調查等の御依賴に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依賴者が至當と想はれる程の低廉な調查料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社內(電話番町四五六六番)

人事相談所

婦人週報
(每週金曜發行)

定價表

△一部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二拾錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等(表紙の二、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の內側)金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵劵代用は必ず一割增の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯兼印刷人　小橋三四子
東京市京橋區銀座四丁目一番地
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
發行所　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番
電話番町四五六六番

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及(木)午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二一番

東洋内科醫院

院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車塲半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります

和洋服 **外套インバ**東コート**ネル・セル・ショール半襟毛皮**等のクリーニング迅速に致し染色を**丁寧親切**します

○局部シミヌキ
○御一報次第參上

各國大公使館
帝國ホテル御用

日比谷クリーニング商會
日比谷公園停留塲際　電話新橋三一〇八

古本 **高價に買受ます**

御一報次第何時にても參上します
牛込區早稻田鶴卷町百十一
文學堂書店
電話呼出番町九四一

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫 **井出茂代**
電話番町三六七七番

耳鼻咽喉科專門

東京京橋區南鍛冶町廿七
大野耳鼻咽喉科**醫院**
院長　大野喜伊次
（入院隨時）
電話京橋一〇三五

高木鐸子考案
鳩印安全下着

此下着は男女の別なく和洋服の下に用ひて着心地よく從來のものと異り横でボタンを嵌め外すやうになつて居りますから衣裳を崩す患ひなく且つ暖かく至極衛生に必要な品であります

大人用　大　五十錢　小　四十五錢
子供用　カンビネーション　大六十錢　中五十五錢　小四十錢
型紙何れも五十錢

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前　往診午後
病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町　三三五七
東京至誠病院

料理講習會

會席料理	西洋料理
毎週土曜日午前中	毎週月、金午前中（主婦としての爲）
會費一回卅五錢	會費一回五十錢
束修五十錢	束修五十錢

外に主婦以外の婦人の爲
毎週水曜午前中開催
會費一回五十錢束修五十錢

本郷區彌生町三番地
電話下谷六八一五番
櫻井女塾

ピーナットバター　一罐　四十錢

ピーナットバターに蛋白質脂肪等を澤山含んで居りますから極めて滋養に富み便秘脚氣衰弱貧血冷え性肺病糖尿病等に特効がありまた日常嗜好用として料理に用ふれば何でも味をよくします其の他バタの代りにパンにつけるにもようございます

婦人週報社代理部取次
振替東京三一六六〇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

名越國三郎氏作（新刊）

畫集 初夏の夢

菊版美裝凸版畫繪五十枚 定價壹圓 送料六錢

著者は插畫家として、我が新畫壇に特異の地歩を領有する人なり。本書は曩に大阪毎日新聞に掲載して、その清新流麗の畫風に江湖の士女を熱狂せしめたものである『初夏の夢』は著者が、若き日の思ひ出として、熾烈なる一生命の憧憬を描いた叙情詩的興趣の横溢せる藝術的収穫の一部で、新らしい情調の蠱惑と飽くまで獨特の表現によつて描き出された、驚くべき著者が神經の敏感を遺憾なく發揮せる畫集である。新藝術の如何に意義ある特色を本書に就いて初めて見るべし。

醫學博士唐澤光德序 醫學士河合三郎著

不用意が招く愛兒の死

四六版布製美本約四百頁餘 定價壹圓貳拾錢 送料八錢

母の脊に負はれて澁谷へ行つたばかりに死んだ清子あれば痼おさへの灸に惱まさるゝ芳坊あり。百日咳にて死せし坊チャンの述懷あれば、疫利にて死せし源チャンの一代記あり。各項二十有餘の實例を小説體に面白く讀過せしめつゝ育兒上總ての方面に論究せり。唐澤醫學博士の序文に曰く「本書は寧ろ大正小兒養育氣質と可稱好著なりと」行文平易難解文字更になく育兒の栞として本書の右に出づるものなきを信ず敢て大正の新家庭に薦む。

忽再版

薄田泣菫氏著（新刊）

茶話

布製[illegible]二百頁餘 定價六拾錢 送料六錢

●大阪毎日評 一度此書を繙くものは、著者が博覧強記の人にて話術に長けたる、識古今東西に亘りて祈聲何の捻出に巧みなに舌を捲くべく、其の秘藏のメッスを揮つて心憎きまで人性を解剖せる、新時代の人々の心裡に深く共鳴するものあるべし。●東京時事評 輕き皮肉と白眼とを以て社會を觀察せる茶話集なり、其の諷刺其譬喩の妙は漫畫子のペンに勝るとも劣るなく『日本人は到底ユウモアを解せず』との放語は正に本書に據りて其の冤を雪がれたるものと云ふべし』

天野藤男氏著（新刊）

農村處女會の組織及指導

農村婦人の研究

四六版布製函入紙數四百頁餘 定價壹圓[illegible]拾錢 送料八錢

社會皆青年團の指導に沒頭するの秋時勢を大觀して青年團の母體とも云ふべき處女會の設立を絶叫する者著者を以て嚆矢とす。本書は農村に立脚して農村處女の生活、特色、風俗等を縱横に觀察して處女會の組織及經營を力説すると共に、都市集注處女の末路を略寫して都會の暗黒面を抉剔し父兄をして戰慄せしむ。行文流暢、觀察奇警、議論と叙事相俟つて趣味全卷に漲る。農村處女は固より父兄、指導者、教育家に取つて絶好の活指針たり。

發行所 東京市麹町區平河町五丁目三十六番地 振替貯金口座番號東京二〇一九一四番 洛陽堂 電話番町 四二五八

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

十二月一日より

歳暮御贈答品賣出し

十二月一日より 同廿五日まで 羽子板陳列

十二月一日より 格安反物賣出し

十二月三日より 同十二日まで 第四回三越繪畫展覽會

十二月十五日より 同卅一日まで 第三回新年用食器陳列會

東京 三越呉服店

肝油服用者之福音

富谷 肝油球（カンユータマ）

三百球入 貳圓
百球入 七十錢
五十球入 四十錢
送料各八錢

最新式の軟質膠球劑絶對に臭氣もなく美味に飲めるは此肝油球である

諸大醫の賞讃

肝油球の特効

身體の弱き人
かぜ引き易き人
腺病の人
夜盲の人
冷え性の婦人
肺の惡しき人
貧血にて艶のなき人
油氣の少ない人

發賣元 東京市赤坂區田町五ノ一
工場 東京赤坂新町三ノ三十二
藥劑師 富谷宗吉藥局
電話芝六二八〇番
振替東京七〇八一番

體力精力増進に今が肝油服用時期

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA